



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 エスライン

上場取引所 名

コード番号 9078 URL <http://www.sline.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,052	7.3	623	85.4	706	61.9	462	115.7
25年3月期第3四半期	29,862	△1.8	336	73.2	436	44.3	214	△19.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 641百万円 (136.8%) 25年3月期第3四半期 270百万円 (△10.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.20	—
25年3月期第3四半期	10.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,441	15,856	51.6
25年3月期	28,222	15,322	52.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 15,181百万円 25年3月期 14,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	6.0	900	71.8	1,000	53.8	600	160.2	28.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	21,753,993 株	25年3月期	21,753,993 株
26年3月期3Q	916,448 株	25年3月期	909,001 株
26年3月期3Q	20,841,707 株	25年3月期3Q	20,848,941 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策に対する期待感により、円安・株高が進み、企業業績は改善し、設備投資や個人消費にも持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、個人消費の持ち直しを受けて消費関連貨物や、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要などによる住宅関連貨物などの輸送量増加が見られるものの、円安による軽油価格の高止まりや、トラックやドライバー不足による傭車費の増加、更には連絡運輸中継会社からの運賃値上げ要請などコストアップ要因が企業収益を圧迫するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「地域に密着した企業活動で社会に貢献する。お客様に満足していただける物流をご提供する。」の経営理念を基本に、グループ各社が持てるネットワークとエリアごとの物流機能を結集した総合力を活かして、積極的な営業提案を行うことにより、業績確保と企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益320億52百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益6億23百万円（前年同期比85.4%増）、経常利益7億6百万円（前年同期比61.9%増）、四半期純利益4億62百万円（前年同期比115.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、グループの中核事業会社である㈱エスラインギフに新設した「営業開発部」を中心に、当社グループの持てる物流施設と輸送ネットワークを有効利用する物流サービスの提案営業を行うことにより、新たなお客様との取引開始や、取り扱い量の拡大を図ってまいりました。また、エリア担当の「営業推進部」は適正な運賃水準への改定や、軽油価格上昇に伴う燃料サーチャージの収受による増収と、新たな営業案件に対して「営業開発部」と一体になって、お客様の物流ニーズに的確にお応えできる作業体制を構築してまいりました。物流サービス部門では、先期運用を開始した、インターネット通販の商品を取り扱う物流配送センターや、靴専門チェーン店の物流配送センターのセンター業務についても高い評価を得ることが出来ました。次への拡大に向けて、更なる効率化と品質向上に力を注ぎ、収益確保に努めてまいります。家電配送業務においては、家電の配送拠点を札幌に新たに開設いたしました。また、通販業界やネット販売も含む家具販売業界のお客様との新たな取引開始や、取扱商品の拡大にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は315億22百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益（営業利益）は9億96百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。昨年6月からは、大阪市中央区で駐車場運営会社に賃貸している駐車場の一部に、サブリース会社に賃貸するための商業用店舗兼事務所を建築して賃貸を開始いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は3億円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億50百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜市内の高校や近隣の大学の通学バスおよびクラブ・サークル活動などの貸切バス、冠婚葬祭時の送迎バス、更には競輪場のファンバスなど、安全と安心を第一に、地元で密着した運行業務に取り組んでまいりました。

この結果、その他の営業収益は2億29百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益（営業利益）は18百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の連結資産合計は294億41百万円となり、前連結会計年度比12億18百万円増加しております。この主な要因は建設仮勘定の増加、現金及び預金の増加によるものであります。

また、連結負債合計は135億84百万円となり、前連結会計年度比6億84百万円増加しております。この主な要因は借入金の増加によるものであります。

連結純資産合計は158億56百万円となり、前連結会計年度比5億33百万円増加しております。この主な要因は四半期純利益による増加、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表した内容から変更はございません。

なお、実際の業績については、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,257	2,776
受取手形及び営業未収入金	5,250	5,283
貯蔵品	48	52
繰延税金資産	72	72
その他	452	522
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	8,073	8,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,054	4,801
機械装置及び運搬具（純額）	994	1,157
土地	10,631	10,631
リース資産（純額）	274	237
建設仮勘定	6	663
その他（純額）	118	106
有形固定資産合計	17,079	17,597
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,534	1,768
繰延税金資産	218	204
その他	932	909
貸倒引当金	△29	△30
投資その他の資産合計	2,654	2,851
固定資産合計	20,149	20,741
資産合計	28,222	29,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,456	4,618
短期借入金	910	1,310
1年内返済予定の長期借入金	309	333
未払法人税等	218	128
賞与引当金	228	175
役員賞与引当金	10	11
設備関係支払手形	3	1
その他	710	754
流動負債合計	6,849	7,332
固定負債		
長期借入金	122	384
繰延税金負債	1,991	2,046
退職給付引当金	2,947	2,890
役員退職慰労引当金	104	102
資産除去債務	193	194
負ののれん	14	6
その他	677	626
固定負債合計	6,050	6,251
負債合計	12,899	13,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,850	10,208
自己株式	△174	△176
株主資本合計	14,426	14,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	397
その他の包括利益累計額合計	244	397
少数株主持分	651	675
純資産合計	15,322	15,856
負債純資産合計	28,222	29,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	29,862	32,052
営業原価	28,342	30,222
営業総利益	1,520	1,830
販売費及び一般管理費	1,183	1,207
営業利益	336	623
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	28
受取賃貸料	22	22
負ののれん償却額	26	8
持分法による投資利益	6	5
その他	40	39
営業外収益合計	123	104
営業外費用		
支払利息	9	6
売上割引	3	3
債権売却損	10	11
その他	0	0
営業外費用合計	23	21
経常利益	436	706
特別利益		
固定資産売却益	41	31
補助金収入	24	4
その他	2	5
特別利益合計	68	41
特別損失		
固定資産除売却損	94	5
減損損失	39	4
その他	29	0
特別損失合計	163	9
税金等調整前四半期純利益	340	737
法人税等	104	249
少数株主損益調整前四半期純利益	236	487
少数株主利益	22	25
四半期純利益	214	462

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	153
その他の包括利益合計	33	153
四半期包括利益	270	641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248	615
少数株主に係る四半期包括利益	22	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	29,343	294	29,638	224	29,862	—	29,862
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,343	294	29,638	224	29,862	—	29,862
セグメント利益	716	144	860	29	890	△554	336

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△554百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	31,522	300	31,823	229	32,052	—	32,052
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,522	300	31,823	229	32,052	—	32,052
セグメント利益	996	150	1,147	18	1,165	△542	623

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△542百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。